

旭川市立緑新小学校【あかるく かしく たくましく】

学校だより

緑新

〒078-8314 旭川市神楽岡4条5丁目 電話 65-0735



## 新年度に向けた力強い助走を！

校長 池山 仁史

冬休みが終わり、元気な子ども達の顔を見ることができ、大変うれしく思っています。

さて、3学期は、まとめの学期といわれますが、新年度を見据えた助走の時期と考えることもできます。

特に、6年生は今まで蓄えてきた力を自信に変えて、中学校に進んでほしいです。緑新小学校の卒業生としての誇りをもって、力強く羽ばたいていくことを願っています。

5年生は、6年生にかわる「学校のリーダー」として活躍するための助走期間です。下級生と共に考え、協調し合いながら、よりよい緑新小学校を創ってほしいです。

ところで、江戸末期の激動の時代に、橋本左内という人がいました。日本の将来について深く考え行動しましたが、「安政の大獄」によって26歳の若さで命を落としました。その左内が、15歳（昔は数え年だったので、実際には14歳）の時、五つの決意を記した『啓発録』というものを残しています。

「去稚心」…稚心を去る 稚心とは幼稚な心のことであり、幼稚な心から離れないうちは物事を成し遂げることはできない。十三、四歳にもなり志を立てたからには、つまらない遊びにふけったり、父や母に甘えたりする幼稚な心を捨てなければならない。

「振気」…気を振るう 気を振るうとは気概を発揮することであり、決して 橋本左内 人には負けられない、負けることは恥だと考えて、心を奮い立て、怠けたり油断したりしないよう努力することである。学問を修め、真心や正義の心に気概を発揮するには、志を立てることが重要である。

「立志」…志を立てる 志とは心が向かう場所のことであり、自分の心が向かっていく場所のことをいう。志を立てるとは、その目標をしっかりと定め、一旦そのように思い立ったならば、いつもその心を失わないように保つことである。志を立て、こつこつ努力していけば、どんな人でも必ず成長し、必ずその場所にたどり着くことができるものである。

「勉学」…学に勉める 志を立てた以上、努力して勉強に励むことが肝心である。勉強とはただ本を読む、字を書くということではない。それらはただ学問の手段であって、これらを通じて自分の知恵や知識を豊かにし、心を練り鍛え、物事の道理や筋道を明らかにすることが、真の意味での学問である。

「択交友」…交友を択(えら)ぶ 友人には、損友と益友とがある。損友はただの仲良しというだけで、自分のためにはならない。益友はとかく気を遣い、時には面白くないこともあるが、相手のよい所を見習い、自分の欠点を直すこともできるので、友人を選ぶことは大切なことである。良い友人かどうかは、正義感が強く真っ直ぐであるか、穏やかで誠実な性格であるか、勇気があるか、大らかで度量が広いかなどの観点から見分ける。

現在の中学生の年頃で、五つの決意を固めた橋本左内。時代は異なっているけれども、大人への第一歩は「志」を立てるところから始まります。3学期は、今年度の総まとめの学期でもあり、同時に4月からの新年度へ繋がる重要な学期です。子ども達一人一人が、自分なりの「志」をもち、充実したものにしてほしいと願っています。



## スキー学習

20日に6年生のスキー学習をサンタプレゼントパークで行いました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スキー場でのスキー学習を2～6年生は例年2回のところ1回にするとともに、バスを1学年につき3台にして密集を避けたり、スキー学習を午前日程にして学校でお弁当を食べるようしたりしています。

なお、1年生はスキー場でのスキー学習を例年1回行っていますが、今年には行わないことにしました。また、1・2年生は緑新小グラウンドに造成した雪山でスキーの基礎練習をしています。



6年生（サンタプレゼントパーク スキー場） 2年生（グラウンド雪山）

## 学校運営協議会（コミュニティー・スクール）

令和2年度の学校運営協議会を紙面会議方式（1月15日に資料配付）で開催させていただきました。

学校運営協議会とは、学校が保護者や地域の方々と協力して「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティー・スクール（CS）とも言います。緑新小は、平成12年に「緑新っ子を育てる会」が組織されていますが、その目的は学校運営協議会とほぼ同じです。その後、平成16年に法令で学校運営協議会を設置することが定められ（努力義務）、緑新小では令和2年1月に学校運営協議会を設置しました。

現在の学校運営協議会委員は、神楽岡東地区市民委員会会長、神楽岡東地区社会福祉協議会会長、緑新中央町内会会長、元PTA会長、元PTA副会長、現PTA会長、そして校長の7名で構成され、事務局は、教頭と主幹教諭が担っています。将来的には緑が丘中校区の4校で連携を強化し、目指す児童生徒徒を共有化したり、小中連携会議を定例化したり、授業交流等をしたりして、9年間を見通した指導ができる体制づくりを推進していきます。

さて、紙面会議では、令和2年度の教育活動については「コロナ禍で過去に例のない大変な学校運営だったと思う。」「運動会や学習発表会の分散開催など、工夫しながら子供達のための学校行事が一通り開催出来たことは良かったと思う。」、学校評価については「保護者評価の回答率の高さや高評価が多かったことはPTAと先生方の努力の賜物だと思う。」「保護者評価をGoogle・フォームで回答できるようにしたのは今の時代にあった良い取り組みだと思う。」、令和3年度の経営方針については「インターネットの発達などで便利なことが増えた反面、対面でのコミュニケーション能力や気力や体力などで弱さを感じることもある。子どもたちが心も身体も強くなれるようなご指導をお願いしたい。」などのご意見がありました。

一方、緑新小の玄関前に設置されている開校10周年記念事業で設置されたステンレス製モニュメントについて、時計の時間が合っていないとのこと指摘がありました。モニュメントの時計については、平成4年に設置されて以来28年が経過し、時間調整してもすぐに時間が合わなくなってしまう状態です。この件については、当時の関係の皆様と相談しながら対応して参ります。





# こだま

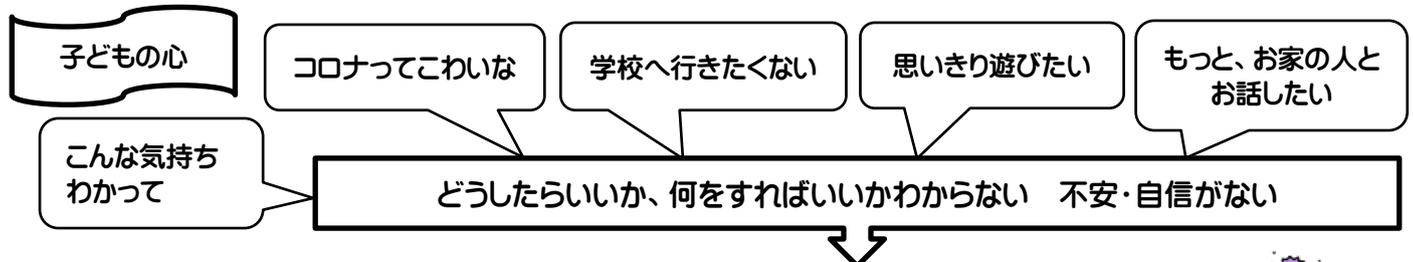
PTA文化・広報部では、昨年度に引き続き、学校だより「緑新」のスペースを頂き、広報「こだま」として、PTA活動の様子を皆様にお伝えしていくこととしました。ご覧頂き、PTA活動へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により学校行事が縮小されたり、例年通りの学習が行えなかったり、色々な制約が子供達にも強いられています。このような中でも子供達がイキイキと生活出来るように何が出来るのかスクールカウンセラーの藤木先生に教えていただきました。

## ☆ コロナ禍における子どもの心の変化とその対応 ☆

旭川市小学校スクールカウンセラー 藤木 由加里

今まで経験したことのないコロナ禍の中で、子どもたちの小さな心は不安な気持ちで一杯です。ちょっとしたことが気になり、心が重く、やる気を失ったり、前へ進もうとする『心の元気がしぼんできている状態』なのです。今、何が大事で、何をすればいいのかわからないのです。そんな子どもたちの『心を元気にする』ための対応を考えてみました。参考にしてください。



### 1 コロナについての正しい情報を 子どもの年齢に合った言葉で説明する



コロナは、誰かのせいではなく、風邪のような目に見えないウイルスのせいであることを伝え、必要以上にこわがらないようにお話ししてあげましょう。  
★ニュースや映像を見せすぎないようにしましょう。

### 2 子どもの気持ちに 耳を傾けてあげる



今の不安な気持ちを言葉で伝え、受け止めてもらえるとちょっと安心します。  
★どんな気持ちも否定せず、受け止め、子どもなりの頑張りを認めてあげる。

### 3 親子で一緒に過ごす時間を作る(気持ちのいい時間の過ごし方の工夫)

家族は、ありのままの自分を受け入れ、大切にしてくれ、愛情を感じさせてくれる人たち。一緒にいるだけで子どもは、ほっとします。親子で遊ぶ(カルタ・オセロ等)のも一緒に身体を動かすのもストレス解消になります。(ラジオ体操・ストレッチ・ヨガ等)また、料理、掃除も一緒にするとお手伝いのきっかけに  
★プラスの言葉かけ・スキンシップなど ほめる・叱ること(バランスよく)も大事な愛情の一つ

人は、何かをしてないと不安になります。子どもも同じです。勉強やお手伝いや遊びとその子なりのペースでバランス良く生活することが、『心を元気にする』ことへ繋がります。また、人との繋がりも大事です。会えなくても手紙などをうまく活用し、心の繋がりを大切にしたいものです。そして、周りの大人が、「笑顔でいること」が、子どもにとって一番安心することかもしれません。

# 2月の主な行事予定

## 2月の生活目標：健康な生活をしよう

- 1日(月) 交通安全街頭指導, スキー学習(5年生)
- 2日(火) 朝会(校内テレビ放送)
- 4日(木) 委員会(反省)
- 8日(月) スキー学習(3年生)
- 9日(火) 新入学児童説明会(保護者のみ)
- 11日(木) 建国記念の日(祝日)
- 15日(月) 諸費引落日→前日迄にご入金ください。
- 16日(火) 中学校入学説明会(保護者のみ)
- 18日(木) スキー学習(2年生)
- 23日(火) 天皇誕生日(祝日)
- 26日(金) 緑新活動(6年生を送る会)



2ページで紹介した「学校運営協議会」では、令和3年度の学校経営についてこの資料をもとに検討していただきました。  
 なお、ここでは紙面の都合で、“経営の重点” “「目指す子どもの姿」の具体目標” “指導の重点”は省略しています。

### 令和3年度 緑新小学校 学校経営 グランドデザイン(案)

